

プログラム・スケジュール

パネルの内部で順番の入れ替えが生じる場合があります。あらかじめご了承ください。特記なき場合の発表者の所属は早稲田大学です。

2024年1月12日（金）

10:00～12:00 分科会 I「演劇・舞踊」（座長：藤井慎太郎）

- ・關智子（文学部講師（任期付））「病への眼差し——サラ・ケインの作品における病の体験」
- ・関根遼（文学研究科博士後期課程）「村川拓也作品における介護の表象」
- ・近藤つぐみ（文学研究科博士後期課程）「舞踊史における病める身体の排除と表象」

13:30～14:30 基調講演

- ・竹本幹夫（名誉教授）「能と病」

14:40～16:00 分科会 II「文化」（座長：竹本幹夫）

- ・黒田昭信（ストラスブール大学准教授）「なつかし- nostalgie - Sehnsucht — 現存在分析のための比較的考察」
- ・山吉頌平（文化構想学部助手）「利用される疫病—泰澄伝に見える奈良時代の疱瘡流行—」

16:30～18:30 分科会 III「文学・アニメーション映画」（座長：ルシーニュ＝オドリ）

- ・エヴリーヌ・ルシーニュ＝オドリ（ストラスブール大学准教授）「『枕草子』における病—叙述表現と映像表現の相違について」
- ・ヴィクトワール・フユボワ（ストラスブール大学准教授、リモート参加）「ロマン主義の病とその読書療法」
- ・イラン・グエン（INALCO 博士課程、リモート参加）「「祈りのように」響く映画：岡本忠成『南無一病息災』（1973年）」

2024年1月13日（土）

10:00～12:00 分科会 IV「歌舞伎」（座長：児玉竜一）

- ・児玉竜一（文学部教授）「歌舞伎・文楽と病」
- ・陳夢陽（文学研究科研究生）「疫病流行下の歌舞伎狂言「傾城天羽衣」をめぐる」
- ・高橋和日子（文学研究科博士後期課程）「近世期の歌舞伎における伴狂の表象——一条大蔵卿と蘭平を中心に——」

13:30～15:30 分科会 V「フランス文学・文化」（座長：オディール・デュスト）

- ・宮川知子（文学研究科博士後期課程）「ブリヤ＝サヴァラン『味覚の生理学』における「生理学」と「病」について」
- ・谷澤真優（文学研究科博士後期課程）「バルザックにおける「社会の病」と相続」
- ・林明日佳（文学研究科博士後期課程）「エミール・ゾラ『愛の一ページ』考察——病巣としてのパリ」

16:00～18:00 分科会 VI「フランス演劇」（座長：藤井慎太郎）

- ・シルヴァン・ディアズ（ストラスブール大学准教授）「症状＝徴候としての演劇（症例＝事例ワジディ・ムワワド）」
- ・笠原志保（ストラスブール大学博士課程）「燃ゆる記憶——現代演劇におけるアルツハイマー病の表象」
- ・藤井慎太郎（文学部教授）「病むほどに日本を——太陽劇団『金夢島』における病の表象」